

平成 23 年紀伊半島大水害における十津川村復興計画に関する研究
—水害からの早期復旧・復興の要因について—

A study on Totsukawa village reconstruction plan in the Kii Peninsula flood 2011
-Factors of early recovery and reconstruction from flood disaster-

檜原 佳奈

Kana NARAHARA

SUMMARY

This study examines the factor of early recovery and reconstruction from flood disaster. In case of Totsukawa, 5 features were observed. 1) Reconstruction plan was formulated by the town hall. 2) Recovery priority was clear. 3) Totsukawa could strong appeal to government where they want to early recovery. 4) Sprit of Totsukawa. 5) A new village building which inherited a quality Totsukawa. 1~4 features were affected to early recovery. Also, the feature 5 should be helpful when other Hilly and Mountainous areas revived.

KEYWORDS

Flood disaster, Hilly and Mountainous Areas, Reconstruction plan, Depopulation

1. 研究の背景と目的

近年、日本では少子高齢化・過疎過密化が問題となっており、これは防災上でも重要な問題である。特に国土の 65% を占める中山間地域では顕著な問題である。中山間地域は我が国の農業で重要地域であり、また流域の上流部に位置することから農業・農村の持つ水源涵養・洪水の防止・土壌の浸食や崩壊などの多面的機能がある。これらの機能があることにより下流域の都市の住民を含む多くの国民の暮らしが守られているため、「中山間地域の集落を持続させる必要がある」と仮定する。過疎・高齢化が進行した中山間地における災害の例としては 2011 年台風 12 号による紀伊半島大水害が挙げられる。この災害で被害を受けた奈良県十津川村の復旧・復興は他の災害に比べ早かったと言われている。十津川村の復旧・復興計画を研究することを通して早期復旧・復興に影響をもたらした要因を明らかにし、今後の災害復興の参考になるようにすることが目的である。

研究方法は、文献資料の収集・十津川村役場の方へのヒアリングにより得た情報により、復興計画・復興の特徴の分析・考察を行っている。

2. 紀伊半島大水害の被害概要

平成 23 年台風 12 号は 2011 年 8 月 25 日に発生した大型の台風で、奈良県上北山村では 72 時間雨量が 1

976 年からの統計開始以来の国内観測記録を大幅に上回り、各地に甚大な被害を及ぼした。この水害での奈良県・和歌山県・三重県の主な被害は以下の表の通りである。

表 1 紀伊半島大水害被害

	三重	和歌山	奈良(十津川)
死者	2	56	14(6)
行方不明者	1	5	10(6)
全壊	81	367	49(18)
半壊	1077	1840	69(30)
道路被害箇所	368	288	126(45)

3. 復興計画について

3.1 十津川村の歴史

十津川村はこれまで記録に残っているだけで、3 度水害の被害に遭っている。1 度目は 1815 年文化 15 年、これまでにない大洪水で田畑や家が流されたとの記録が残っている。2 度目は 1889 年明治 22 年十津川大水害である。この水害被害を受けた後、住民は北海道に移住し新十津川村を開拓した。耕地面積が拡大する時期に被害を受けたため、より被害意識が強まり移住を促進したとされている。

3.2 復興計画概要

・復興計画の策定

復興計画の策定は外部委託されず、山古志村の計画を参考にしながら十津川村役場庁内にて検討を繰り返し、素案

を作成した。その後議会から認められたうえで村内で説明会を行い、住民の意見をもとに修正を加え、議会の承認を受け公表された。計画策定のなかでは、事務的には当時の企画調整課室長が取りまとめを行っていた。主要事業については、各事業を実現する担当課の意見が通っている。

・復興理念

復興理念は、これまで以上に活力があり魅力にあふれた十津川を作り上げることを目指し、以下3項目を策定した。
①十津川村を愛し、心を寄せ、助け合う②誇りある十津川村再生の実現③災害をバネに十津川村の活力を高める。

主要政策は、①安全な日常の回復②災害に強い村作りの2点の実現を目的に、①では主に復旧に関するもの、②では災害に強いインフラの整備、安全な集落の創造、産業・雇用の創出、教育・医療・福祉の充実、災害の教訓を後世へ伝承する施策が策定された。

4. 復興の特徴

十津川村の復興において特徴的なことが5点見られた。1点目は計画策定にあたり、外部委託せず十津川村内部で作成された点がある。これは被災により交通網が寸断されたという外的要因が大きく関係しているが、結果として十津川村ならではの計画が策定できたと思われる。2点目は復旧の優先順位が明確なことである。十津川村の交通網は道路のみで、道路を復旧させないことには他の復旧を行うことができない。優先順位がはっきりしているからこそ、復旧に向けて強くアピールでき、その結果早く着手することができたと考えられる。3点目は「いのちの道」「源泉かけ流し」などの特徴的なキャッチコピーを考え、十津川村から外に向けてのアピール力である。これは先にも述べた通り、復旧の優先順位が明確であること、地域の強み・良さを認識できているから可能であったと考えられる。4点目は「十津川人魂」である。十津川人魂とは、質素な生活をしながらも、質実剛健で不撓不屈の精神を持ち、一致団結で助け合いのできる気質のことである。この十津川人魂は復旧・復興を進める上で欠かせないものである。それは計画の実施にあたり、合意形成の迅速化に大きく影響しているからである。この十津川人魂が形成された背景として、十津川村の環境が影響していると考えられる。厳しい環境で生活していることから、常に住民同士が支え合って生活している。災害時も同様で、明治時代の十津川村水害状況

を記述した「吉野郡水災誌」にも五條俱樂部や吉野俱樂部など民間有志団体が存在し、精力的に被災地支援活動を行ったこと、地域住民が助け合ったとの記述もあったことから、明治以前から長きに亘って形成されてきた意識であると考えられる。5点目は十津川らしさを受け継ぐ新しい集落作りである。先にも述べた通り中山間地域である十津川も過疎・少子高齢化が進行しており、明治期のように住民が外に出て行ってしまうと、村の存続は困難である。そのため十津川村に住み続けられるよう、村内で安全・安心にらせる場所を創造する新たな集落作りを考えた。既存住宅の中に復興住宅を入れ込んでいくことで、放棄された土地も活かすことができる良い方法であると考えられる。

5. 結論・まとめ

十津川村早期復旧・復興には①村民の意見を大切にした計画作り②復旧の優先順位の明確化③外部へのPR力④十津川人魂の以上4点が大きく影響していると考えられる。

災害における行政の力には限界があるため、復興は行政のみならず、さまざまな人間が協力し合って行っていかなければならない。そして常に村民同士が支え合って生活しているからこそ、災害時でも互いを思い合い行動することができ、合意形成の迅速化につながる。そのため日頃から顔の見える付き合いをしていくことが大切である。また新たな集落作りにおける復興住宅の作り方、なるべく集落をたたまず村を存続させていくという方法は、今後の中山間地域の発展・復旧において参考にすべきである。

今後の課題としては、今回活かすことが出来なかった過去の教訓を未来でも活かせる形で残す方法を考えること、また各地域に残っている教訓を、村全体で把握できるような体制作りが必要である。

参考文献

- 1)奈良県十津川村「十津川村復興計画」、2013
- 2)奈良県 紀伊半島大水害復旧・復興の現状と取組
http://www3.pref.nara.jp/fukkou/pdf/sinchoku2012_06_for_portal.pdf (2013/12/22)
- 3)三重県防災対策本部 紀伊半島大水害～平成23年台風12号による災害の記録～
<http://www.pref.mie.lg.jp/D1BOUSAI/taisaku/kiihanntoudaisuigai/> (2014/1/29)
- 4)和歌山県県土整備局 平成23年紀伊半島大水害の被害と復旧の記録
http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/080100/documents/higai_hukkyu_kiroku.pdf (2014/1/29)
- 5)宇智吉野郡役所「明治二十二年吉野郡水災誌」、1891
- 6)藤田佳久・二宮巖 「明治22年の十津川大水害による土地利用の変化」 東北地理 Vol. 31(1979)No. 4 P231-241